

各 位

会 社 名 アステリア株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 平野洋一郎  
 (コード番号:3853 東証第一部)  
 問合せ先 執行役員コーポレート本部長 齊藤裕久  
 (TEL 03-5718-1655)

**特別損失の計上(単体)および個別(単体)通期業績の前期実績との差異に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)決算(単体)において、特別損失を計上することを決議いたしました。また、個別(単体)業績につきまして、前期実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

当社が投資を実施した企業(当社が株式を保有)の一部におきまして、収益の計上が当初計画よりも遅れていることから、当該企業の事業環境、財政状態及び経営成績を勘案し、あらためて株式の評価を行った結果、2019年3月期決算(単体)において、投資有価証券評価損189百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、本投資有価証券評価損につきましては、IFRS上の会計処理(IFRS第9号)により、連結財務諸表に与える影響はございません。

2. 業績見込み数値と実績値との差異について

2019年3月期通期個別業績と前期実績との差異(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期(2018年3月期) 実績(A)	1,811	▲147	▲144	▲285	▲17.22
当期(2019年3月期)予 想(B)	1,919	▲196	288	28	1.68
増減額(B-A)	108	▲49	432	314	—
増減率(%)	6	—	—	—	—

3. 差異の生じた理由

売上高については、主力製品「ASTERIA Warp」及び「Handbook」の販売が好調に推移した結果、前期を上回ることとなりました。

利益につきましては、This Place Limited社の買収に伴うアーンアウト(成果報酬型買収対価)にかかる費用を計上したことにより、営業利益は前年を下回ることとなりましたが、同社からの配当金の受取により経常利益、当期純利益は赤字から黒字に転換いたしました。

※2019年3月期の業績(連結)につきましては、本日公表の「2019年3月期 決算短信」をご参照ください。

以 上